

第2期中期計画案に対する評価委員からのご意見と修正箇所について

評価委員からの中期計画案に対する意見要旨		評価委員意見に対する法人の対応
(ア) 全体		
足羽委員	数値目標は設定しないのか。また、他法人が数値を出していないような項目も、過去の実績を参考に静岡病院独自の数値目標を設定することができるのではないのか。	以下の項目に目標値を設定。 <ul style="list-style-type: none"> 第2-1-(1) 地域の特性に配慮した医療の確立と提供 第2-1-(2) 救急医療 第2-2-(1) 地域における診療機能 第2-3-(4) 接遇に対する職員の意識向上 第2-5-(1) 医療安全対策 第3-1-(3) 市民との協働による病院運営の実施 第3-2-(1) 医療従事者の確保 第3-3-(1) 働き方改革への取組 第4-1-(1) 経営基盤の確立
村上太郎委員	参考値として研修の参加人数が挙げられているが、研修対象の職員が何人いて、そのうちの何%が参加したのか分かる表現が望ましい。職員に当事者意識を持たせることを徹底していかないと、計画で色々なことを謳っても、患者や市民の目から見たときに、生かされないと思う。	以下の項目に「研修参加率」を追記。 <ul style="list-style-type: none"> 第2-5-(1) 医療安全対策 第3-2-(2) 教育・研修への取組
(イ) 第2-1-(6) ② がん (7ページ)		
袴田委員	国が受動喫煙対策に力を入れている中、静岡病院にも受動喫煙対策に取り組んでもらいたい。静岡市静岡医師会も力を入れており、静岡病院の先生方にも一緒に啓発していただければと思う。	<ul style="list-style-type: none"> 受動喫煙対策に取り組む一文を文章に追加。 参考値に「がん教育活動」の実績を追加。
(ウ) 第2-3-(2) 市民への情報発信と公益に資する取組 (11ページ)		
袴田委員	静岡病院にも受動喫煙対策に取り組んでもらいたい。(同上)	<ul style="list-style-type: none"> 受動喫煙対策に取り組む一文を文章に追加。
(エ) 第2-3-(4) 接遇に対する職員の意識向上 (12ページ)		
村上仁委員	接遇について、どんなことを重点的に取り組むかを具体的に明記すべきだと思う。	<ul style="list-style-type: none"> 病院として接遇のどこを重点的に取り組むのか、具体的な一文を文章に追加。
(オ) 第2-5-(1) 医療安全対策 (14ページ)		
狩野委員	医療安全対策は、職員だけでなく、患者も対象であるという表現の方がよいと思う。	<ul style="list-style-type: none"> 患者も安心して病院にかかれるような目標の一文を文章に追加。
(カ) 第3-1-(3) 市民との協働による病院運営の実施 (17ページ)		
村上太郎委員	障害者の社会参加の促進に関する取組を何かしているか。障害者の方が一般市民と同様に、院内の市民によるイベント・ボランティア活動等にもっと積極的に参加していただける機会をつくるよう対策をお願いしたい。また、院内の障害者の雇用率が法定以下であれば、早急に法定雇用率まで上げていくと共に、その後の雇用向上に繋げる施策を市と連携をとり、しっかり対応してほしい。	<ul style="list-style-type: none"> 病院での障害者の社会参加の促進する目標の一文を文章に追加。 参考値として、ボランティア活動としての「がん患者サロン葵」の開催実績を追加。
(キ) 第3-2-(1) 医療従事者の確保 (18、19ページ)		
村上太郎委員	参考値を見る限り臨床研修指導医数・看護実習受入等の数字は、H28と比較しH29は増えているとはいえず、職員の定着率は課題であり、今後、検討する必要があると考える。特に看護師の定着率改善のための具体的施策をしっかりと作成し、医療技術のみならず患者サービスを含め、病院全体の質向上に努めていただきたい。また、そのための具体的な計画を示していただきたい。	<ul style="list-style-type: none"> 看護師の離職防止に取り組む一文を文章に追加。

第2期中期計画案に対する評価委員からのご意見に対する法人回答（修正対応なし）

評価委員からの中期計画案に対する意見要旨		評価委員意見への法人回答
(ア) 第2-3-(1) 患者中心の医療の提供（10ページ）		
狩野委員	（意見書）医療相談件数の平成29年度実績の大幅減の理由	相談者の必要としている支援内容をより詳細に把握するために、平成29年度から集計方法の変更を実施したため。
(イ) 第3-2-(1) 医療従事者の確保（18、19ページ）		
狩野委員	（意見書）看護師の数に比し、認定看護師の増が前年度、今年度を見る限り、伸び悩みの状態か。今後、院外研修等もふくめ、更なる増をめざし、具体的な対策案はあるか。（学会への参加奨励はもちろん有効な対策ではあるか）	「認定看護師制度の再構築（日本看護協会）」に伴い、2020年度から「新たな認定看護師制度」が開始される。ここ数年は新制度の準備期間であったため、積極的に認定看護師の育成ができない状態であった。新制度開始後は、従来どおり育成に力を入れていく予定。
(ウ) 第3-2-(2) 教育・研修への取組（19ページ）		
村上太郎委員	（第6回）等級別の必修の研修はあるのか。各等級に最低限必要な研修はあり、やらなければ組織は回らない。（等級別研修を実施している場合）欠席者には来年度必ずその研修を受けさせる等の仕組みはしっかりしているのか。	看護部では、経験年数に応じた階層別研修を実施しており、基本的に必ず全員が受講している。事務職については、来年度から静岡市が実施している階層別研修に参加させてもらう予定。